

報道発表資料

令和元年12月12日  
独立行政法人国民生活センター

## ベビーカーの転倒による乳幼児の事故に注意 - ベビーカーから転落し、頭部にけがを負い入院する事例も！ -

### 1. 目的

現在販売されているベビーカーは、ハンドルの固定位置を変えて背面と対面を切り替えることができる商品、軽量・コンパクトな商品、3輪の商品、小回りが利いて押しやすい商品など多様化しています。

医療機関ネットワーク事業<sup>(注1)</sup>には、2014年度以降にベビーカーごと転倒あるいは乳幼児が転落してけがをした事例が288件寄せられています<sup>(注2)</sup>。

当センターにも、「ベビーカーが停止中に転倒した」というテスト依頼がありました。

そこで、消費者へのアンケート調査を実施して、消費者の使用実態を明らかにすると共に、現在販売されているベビーカーについて、ベビーカーごと転倒あるいは乳幼児が転落する要因の調査を行い、使い方について注意喚起することとしました。

(注1) 消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活において生命または身体に被害が生じた事故に遭い、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集するもので、2010年12月から運用を開始しました。

(注2) 2014年度以降受付、2019年10月末日までの伝送分。件数は本公表のために特別に精査したものです。

### 2. テスト実施期間

検体購入：2019年9月

テスト期間：2019年8月～10月（消費者へのアンケート調査を含む）

### 3. ベビーカーの種類

一般財団法人製品安全協会の定める「ベビーカーのSG基準」では、「新生児期を過ぎて（1か月）から、又は首がすわった乳児期（4か月）から使用でき、最長で48か月までの間で使用期間を定めたベビーカー」であるA形、「おすわりができる時期（7か月）から使用でき、最長で48か月までの間で使用期間を定めた」B形の2種類に分類されます。

ベビーカーの中には、ハンドルの固定位置を変えて背面、対面を切り替えることができるものや、座席下にカゴを備えるもの、背もたれの角度を調節することができるものがあります（写真1、2）。

写真1. ベビーカーの各部名称

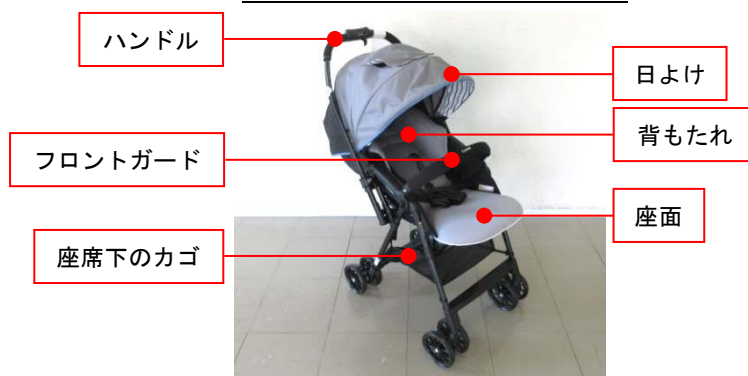


写真2. ベビーカーの背面と対面（左：背面、右：対面）



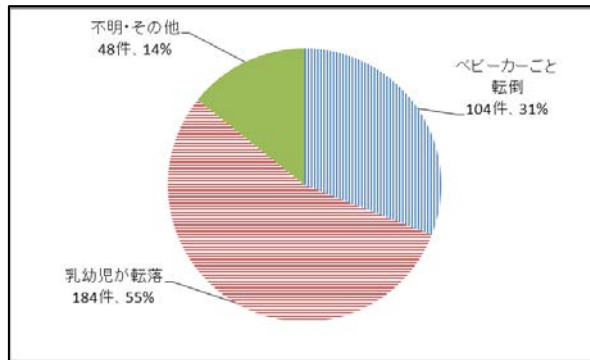
### 4. 事故情報（医療機関ネットワーク事業）

医療機関ネットワーク事業には、ベビーカーに関する事故で乳幼児<sup>(注3)</sup>が医療機関を受診した事例が2014年度以降の過去約5年間に336件寄せられています<sup>(注4)</sup>。これらの事例を、事故の状況別にみると、ベビーカーごと転倒した事例が104件（31%）、乳幼児が転落した事例が184件（55%）あります（図1）。

（注3）児童福祉法によれば、乳児とは1歳未満の者、幼児とは1歳から小学校就学の始期に達するまでの者とあります。そこで、本資料では0～7歳未満を乳幼児としました。

（注4）2014年度以降受付、2019年10月末日までの伝送分。件数は本公表のために特別に精査したものです。

図 1. 事故の状況内訳



## 5. 消費者へのアンケート調査

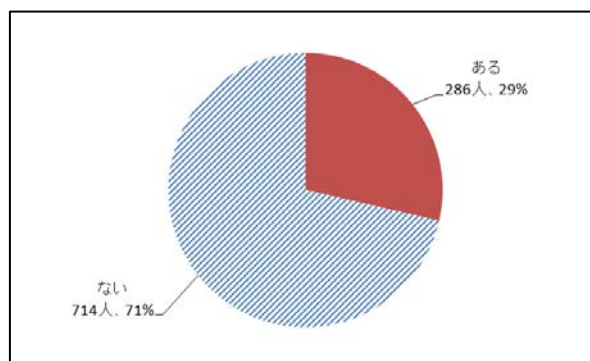
医療機関ネットワーク事業では、ベビーカーごと転倒あるいは乳幼児が転落したことにより、けがをした事例が多くありました。そこで、インターネットアンケート調査により、子どもがいてベビーカーを所有して使用しており、そのベビーカーを最も使用する子どもの年齢が4歳未満である男女1,000名に対し、ベビーカーの使用実態に関する調査を行いました。

### (1) ベビーカーごと転倒あるいは子どもの転落について

#### 約3割の人が、ベビーカーごと転倒あるいは子どもが転落したことがあると回答しました

ベビーカーごと転倒あるいは子どもが転落したことがあると回答した人は1,000人中、286人(29%)でした(図2)。約3割の人がベビーカーごと転倒あるいは子どもが転落するを経験していました。

図 2. ベビーカーごと転倒あるいは子どもの転落の発生経験について



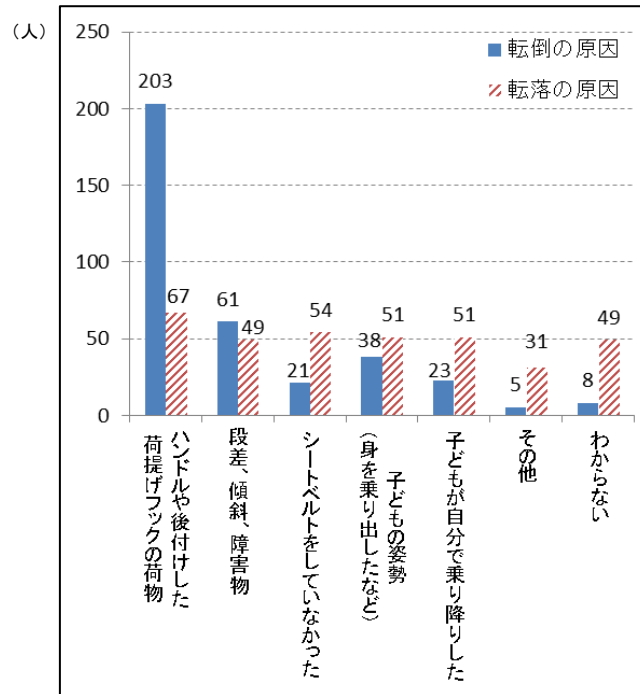
#### ベビーカーごと転倒あるいは子どもが転落した原因は、共に「ハンドルや後付けした荷揚げフックの荷物」と回答した人が最も多くいました

ベビーカーごと転倒した原因は「ハンドルや後付けした荷揚げフックの荷物」と回答した人が203人(71%)と最も多く、次いで「段差、傾斜、障害物」と回答した人が61人(21%)いました(図3)。

子どもが転落した原因は「ハンドルや後付けした荷揚げフックの荷物」と回答した人が67人

(23.4%) と最も多くいましたが、「シートベルトをしていなかった」が54人(19%)、「子どもの姿勢」、「子どもが自分で乗り降りした」が51人(18%)と回答した人も多くいました。

図3. ベビーカーごと転倒あるいは子どもが転落した原因として考えられるもの(複数回答)



## (2) ベビーカーのハンドルの荷物について

### 7割を超える人が、ベビーカーにハンドルに荷物を掛けるためのフックを付けていました

ベビーカーに後から自分で付けた付属品について聞いたところ、1,000人中732人(73%)が「ハンドルに付ける荷揚げフック」と回答しました(写真3、図4、5)。次いで、「ブランケットなどを留めるクリップ」、「おもちゃストラップ」といった回答がありました。

ベビーカーを所有し使用する人の多くは、市販の付属品を付けて使用しており、その中でもハンドルに荷物を掛けるための市販のフックは、最も多くの方が付けていました。

写真3. ハンドルに付ける市販の荷揚げフックの一例



図4. ハンドルに付ける市販の荷揚げフックの一般的な構造

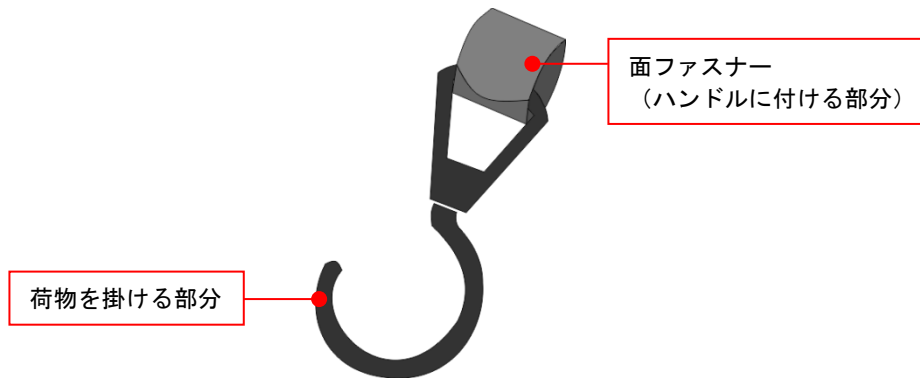
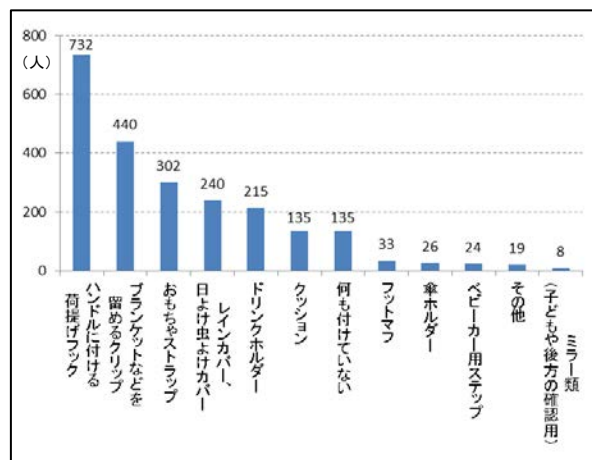


図5. ベビーカーに後から自分で付けたもの（複数回答）



**ハンドルに付ける荷揚げフックには、取り出す機会が多くあるものや、外出先で購入した商品を掛ける傾向がみられました**

ベビーカーに載せる荷物について聞いたところ、ハンドルに掛ける荷物のうち最も回答が多かったのは、「買い物袋（食材など出先で購入したもの）」で、次いで「飲食物類（ミルク、ベビーフード、おやつ、手口拭きなど）」でした（表 1）。取り出す機会が多くある荷物や、外出先で購入した商品などを掛ける傾向がみられました。

一方、座席下のカゴには「衣類（おむつ、着替えなど）」を入れるとの回答が最も多くありました。

表 1. ベビーカーに載せる荷物と場所（複数回答）

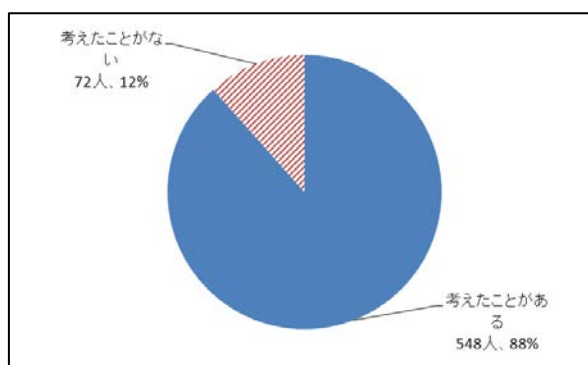
	座席	座席下のカゴ	ハンドルに付ける 荷揚げフック	その他	載せない
衣類（おむつ、着替えなど）	71	469	226	12	271
飲食物類 （ミルク、ベビーフード、おやつ、手口拭きなど）	55	296	341	11	344
おもちゃ	293	213	173	10	349
財布、スマホなど	44	85	230	15	640
買い物袋（食材など出先で購入したもの）	76	286	480	19	246
その他	7	21	2	1	3

ハンドルに荷物を掛けている人の約 9 割は、ハンドルに荷物を掛けることでベビーカーがバランスを崩し、転倒のおそれがあると考えたことがありました

ベビーカーのハンドルに荷物を掛けると回答した 620 人のうち、ハンドルに荷物を掛けることで転倒するおそれがあると考えたことがある人は 548 人（88%）でした（図 6）。

多くの方は、ハンドルに荷物を掛けることでベビーカーが転倒するリスクがあることを感じつつ、それでも使用していることが分かりました。

図 6. ハンドルに荷物を掛けると転倒のおそれがあると考えたことがある人の割合

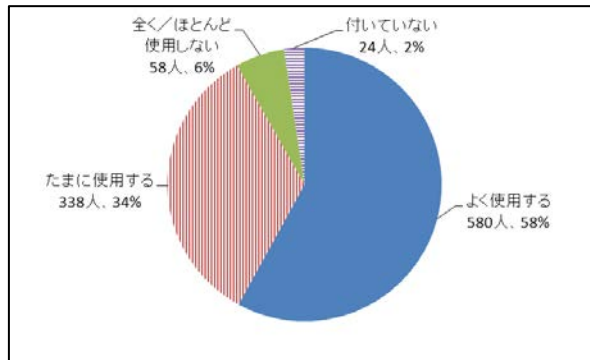


### （3）座席下のカゴについて

9 割を超える人が、ベビーカーの座席下のカゴを使用していました

ベビーカーの座席下のカゴを使用している人は 976 人中 918 人（94%）でした（図 7）。ほとんどの人が座席下のカゴを使用していました。

図 7. ベビーカーの座席下のカゴを使用する人の割合



**約3割の人が、座席下のカゴについて、使いづらいと感じていました**

座席下のカゴが付いていると回答したモニター976人に、座席下のカゴの使いやすさについて聞いたところ、「使いづらい」と回答したモニターが976人中245人(25%)いました(図8)。使いづらいと回答した理由について聞いたところ、「荷物が出し入れしづらい」が最も多く、次いで「スペースが不足」、「位置が低い」などの回答がありました(図9)。

図 8. ベビーカーの座席下のカゴの使いやすさについて

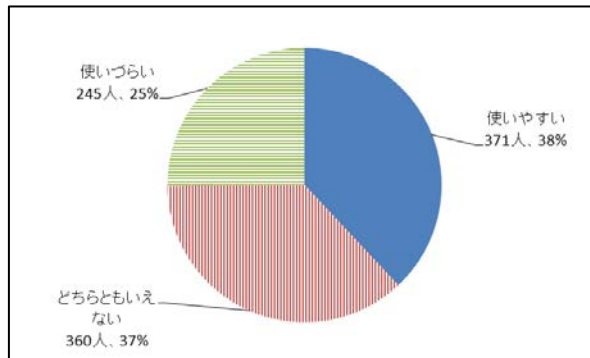
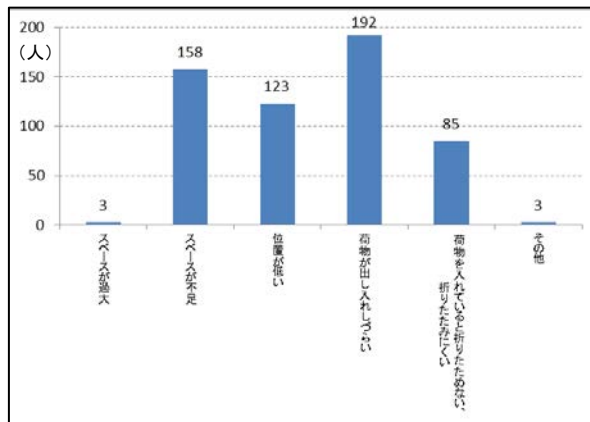


図 9. 使いづらいと回答した理由(複数回答)



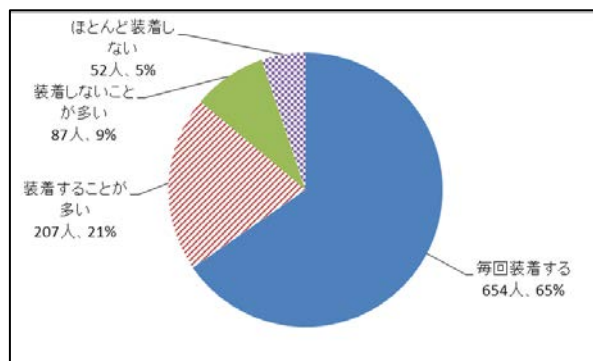
#### (4) シートベルトについて

##### 子どもにシートベルトを毎回装着させる人は7割未満でした

ベビーカーに子どもを乗せたとき、シートベルトを装着させるか聞いたところ、「毎回装着する」と回答したモニターは1,000人中654人(65%)でした(図10)。

ベビーカーに子どもを乗せるときは、必ずシートベルトを装着させるべきですが、必ずしも守られていないことが分かりました。

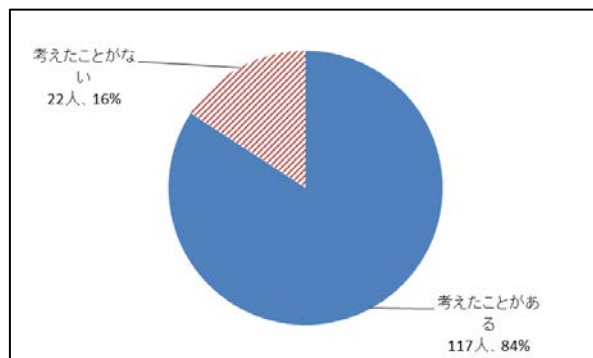
図10. ベビーカーに乗せたとき、子どもにシートベルトを装着させる割合



##### 8割を超える人が、シートベルトを装着していないとベビーカーから子どもが転落するおそれがあると考えたことがありました

ベビーカーに子どもを乗せるときにシートベルトを「装着しないことが多い」または「ほとんど装着しない」と回答したモニター139人に、シートベルトを装着していないと子どもが転落するおそれがあると考えたことがあるか聞いたところ、139人中117人(84%)が「考えたことがある」と回答しました(図11)。シートベルトを必ずしも装着させない人の多くは、子どもが転落するリスクがあることを感じていることが分かりました。

図11. シートベルトを装着していないと転落のおそれがあると考えたことがある人の割合





## 6. 医療機関ネットワーク事業のハンドルの掛けた荷物による転倒事例

医療機関ネットワーク事業には、ハンドルに荷物を掛けたことでベビーカーが転倒あるいはバランスを崩し、乳幼児がけがをした事例が少なくとも 24 件寄せられています<sup>(注5)</sup>。

これらの事例について調べたところ、受傷者の年齢は7カ月未満が約8割と最も多く(図12)、処置見込みは、入院や通院を要するものが約5割を占めており(図13)、受傷部位は頭部と顔面が9割以上を占めていました(図14)。

(注5) 2014年度以降受付、2019年10月末日までの伝送分。件数は本公表のために特別に精査したものです。

図12. 受傷者の年齢内訳

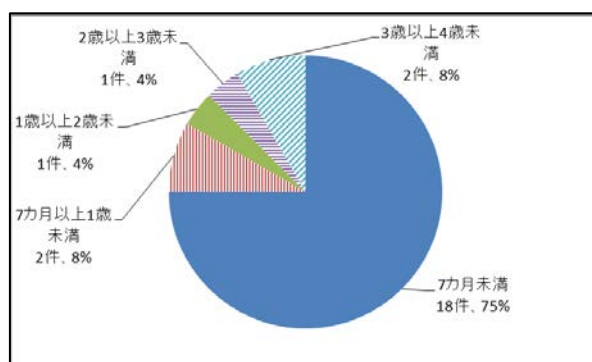


図13. 処置見込み内訳

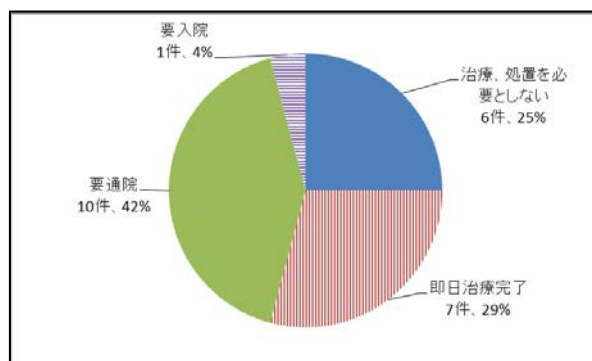
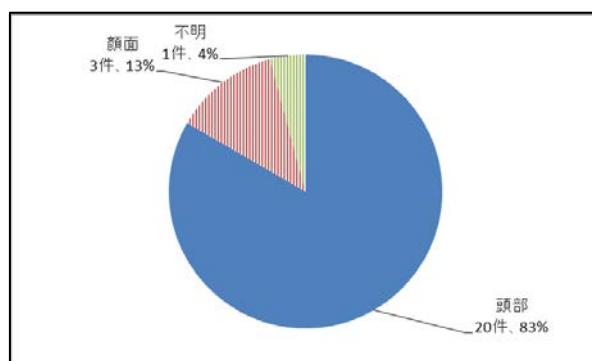


図14. 受傷部位内訳



### 【事例 1】

駐車場のスロープを降りていたところ、ベビーカーが、掛けていた荷物に引っ張られるように手前に倒れた。子どもはシートベルトを装着しておらず、地面に転落した。外傷性くも膜下出血により 7 日間入院した。

[1 カ月・男児、事故発生年月 2015 年 10 月、要入院]

### 【事例 2】

子どもにシートベルトを装着させていなかった。対面式のベビーカーを腕で押しながら移動していた。S 字フックで荷物を掛けていた重さもあり、ベビーカーがハンドル側に転倒し、子どもが転落し、コンクリートの床で頭部を打撲した。

[3 カ月・男児、事故発生年月 2017 年 10 月、要通院]

### 【事例 3】

上の子どもの手をつないで、片手でベビーカーを押していた。ベビーカーから手を離れた瞬間、掛けていた荷物の重みで手前側に転倒し、下の子どもはシートベルトを装着していなかったためアスファルトに放り出され、頭部及び顔面を打撲した。

[3 カ月・女児、事故発生年月 2019 年 5 月、要通院]

## 7. テスト結果

### (1) テスト対象銘柄

以下のテストには、消費者へのアンケート調査結果を元に、販売数が多いと考えられる乳幼児1人用ベビーカー7銘柄をテスト対象としました(表2、写真4)。

表2. テスト対象銘柄

No.	銘柄名	製造または販売者 (法人番号)	展開時の寸法 ①幅 [mm] ②奥行 [mm] ③高さ [mm] ④重さ [kg]	対象	販売価格 (円、税込)
1	カルーンエア-AB	アプリカ・チルドレンズ プロダクツ(同) (9120001130049)	① 455 ② 815~985 ③ 1,035 ④ 3.9	1~36カ月 (体重15kg以下)	35,200
2	ラクーナエア-AC		① 452 ② 849 ③ 1,001 ④ 4.6	1~36カ月 (体重15kg以下)	55,000
3	スゴカル4キャスLight エッグショックHJ	コンビ(株) (8010501017138)	① 497 ② 745~880 ③ 1,050 ④ 4.6	1~36カ月 (体重15kg以下)	55,000
4	メチャライト		① 480 ② 810~900 ③ 1,030 ④ 4.6	1~36カ月 (体重15kg以下)	38,500
5	ココ ブレーキ	(株)GMPインターナショナル (6011001044450)	① 535 ② 960 ③ 1,045 ④ 9.5	首すわり(生後3~5 カ月頃)~3歳位まで (体重15kg以下)	66,000
6	デ・ヨーネ レジェ NAVY	(株)西松屋チェーン (6140001060486)	① 475 ② 860 ③ 1,030 ④ 4.9	1~36カ月	17,798
7	ランフィ RA9	ピジョン(株) (8010001027298)	① 516 ② 830 ③ 1,015 ④ 5.4	1~36カ月	59,400

※メーカー公式ホームページより抜粋

※販売価格は、2019年12月5日時点のものです(ただし、キャンペーン価格を除く)。

※調査の結果は、テストのために購入した商品のみに関するものです。

写真 4. テスト対象銘柄

No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



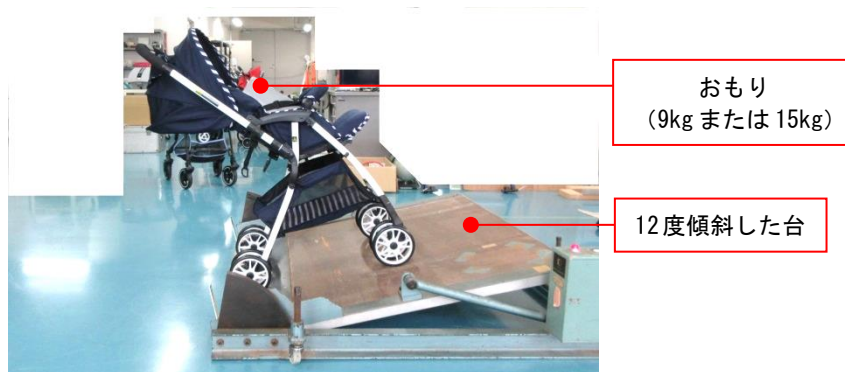
## (2) SG 基準の安定性試験

### 全ての銘柄が SG 基準の安定性を満たしていました

テスト対象銘柄について、SG 基準を参考に、安定性試験を行いました（写真 5）。試験は、12 度傾斜した台上に、9kg または 15kg の円柱形のおもりを座面に載せたベビーカーを前後左右方向に静置し、転倒しないことを確認しました。

その結果、いずれの銘柄も SG 基準の安定性を満たしていました。

写真 5. ベビーカーの安定性試験の様子



## (3) 転倒に至る角度

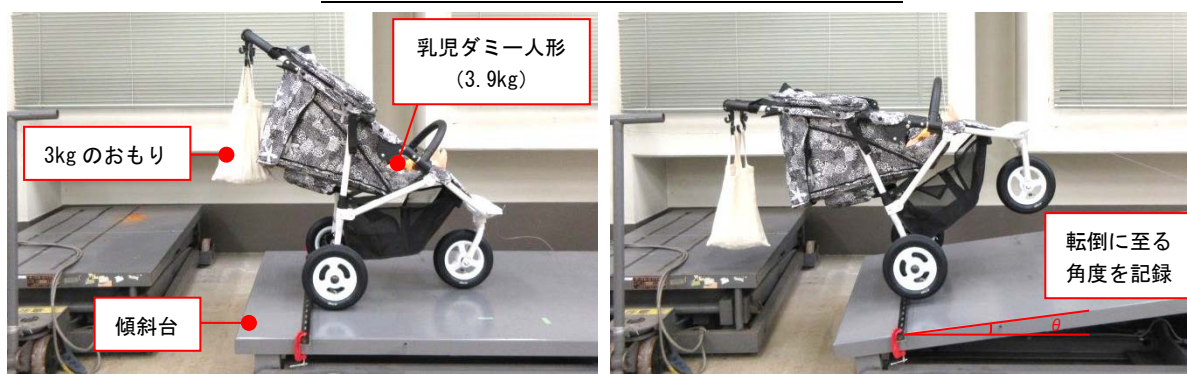
消費者へのアンケート調査では、7割以上の消費者がベビーカーのハンドルに荷物を掛けて使用していることが明らかとなりました。

そこで、乳児ダミー人形（表 3）を乗せたベビーカーが転倒する路面角度が、ハンドルに掛けた荷物によって、どのように変化するかを調べました（写真 6）。

表 3. 使用したダミー人形

	外観	身長	体重
乳児ダミー人形 (株式会社高研、4 カ月ベビー しょうちゃん LM-075)		約 58cm	3.9kg (服装込み)

写真6. 転倒する角度の測定風景（背面の例）



登り坂では、ハンドルに荷物を掛けることで、転倒しやすくなりました

乳児ダミー人形を乗せたベビーカーを傾斜台を登る方向に静置して、ハンドルに荷物に見立てた3kgのおもりを掛けた場合と掛けていない場合について、転倒に至る角度の差を調べました（写真7）。

その結果、ハンドルに荷物を掛けない場合は転倒に至る角度が約17～27度であったのに対し、荷物を掛けると約1～12度となり、約15度小さくなりました（背面の場合、図15）。

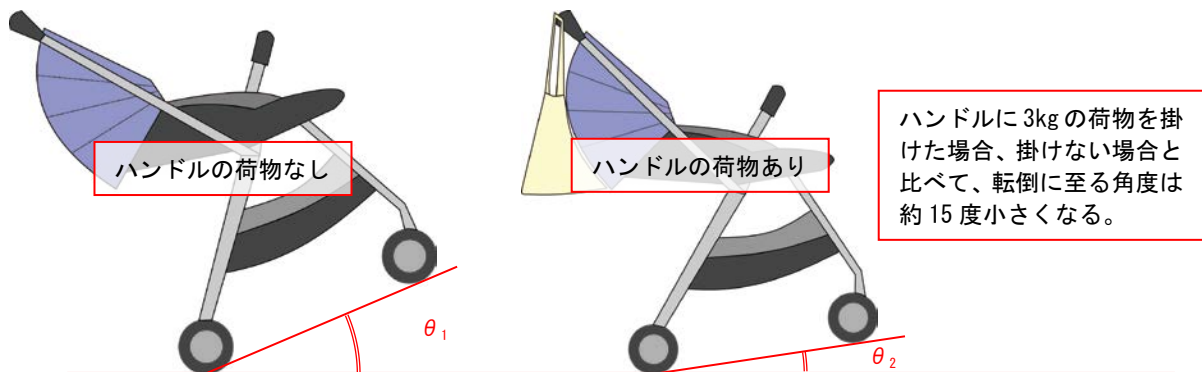
特に小さい子どもを乗せてハンドルに荷物を掛けている場合は、登り坂を通行する際や、段差や障害物を通行するため前輪を持ち上げる操作を行う際に注意が必要です。

なお、対面に切り替えることができる銘柄については、背面よりも対面の方が荷物による影響は小さく転倒しづらくなる傾向がありました。

写真7. 登り方向の転倒角度の測定風景（対面の例）



図 15. ハンドルに掛けた荷物による、登り方向で転倒に至る角度の違い



#### (4) シートベルトの装着による影響

ベビーカーが転倒した場合、シートベルトを装着していないと子どもが投げ出されることがありました

医療機関ネットワーク事業には、ベビーカーが転倒したことで子どもがベビーカーより投げ出されてけがをした事例がありました。そこで、乳児ダミー人形にシートベルトを装着しないでベビーカーに乗せ、さらにハンドルに荷物を掛けて後方に転倒させたところ、ベビーカーから投げ出されることがありました（写真8）。

なお、シートベルトを装着した場合には、投げ出されることはありませんでした。

写真8. ベビーカー転倒時のシートベルトの影響（左：装着している、右：装着していない）



※写真は例であり、撮影に使用した銘柄は実際の事故と無関係です。

#### (5) 表示

全ての銘柄の取扱説明書などには、ハンドルに荷物を掛けた場合、転倒しやすくなる旨、シートベルトを装着していないと子どもが転落する旨の警告表示がみられました

各銘柄の取扱説明書などについて、ハンドルに荷物を掛けること及びシートベルトの装着に関する表示を調べたところ、全ての銘柄で、ハンドルに荷物を掛けた場合、転倒しやすくなるため、ハンドルには荷物をかけない旨及びシートベルトを装着していないと子どもが転落する旨の警告表示がありました（表4）。

表 4. 表示

No.	ハンドルの荷物について	シートベルトの装着について
1	ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。	お子さまが落ちるおそれがあります。シートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）を外して使用しない。
2	ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。	お子さまが落ちるおそれがあります。シートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）を外して使用しない。
3	●カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重をかけないでください。破損・故障の原因となります。	●お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
	3. ハンドルに荷物をつるしたり、過度の荷重をかけないでください カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。	●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。 2. 必ずシートベルトを締めてください お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。お子さまの抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。お子さまが落ちるおそれがあります。
4	●カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重をかけないでください。破損・故障の原因となります。	●お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
	3. ハンドルに荷物をつるしたり、過度の荷重をかけないでください カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。	●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。 2. 必ずシートベルトを締めてください お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。お子さまの抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。お子さまが落ちるおそれがあります。
5	危険！ ハンドルやサンキャノピーに、荷物などの重い物を乗せないでください。安定性を損ない本製品が転倒するおそれがあります。また、市販のベビーカー用吊り下げフックにつきましても使用はお控えください。	危険！ お子様を乗せるときは、必ず5点式シートベルトを装着させてください。また、シートベルトを装着した後は、必ず全ての接続箇所をご確認ください。
6	●お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。 ●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。	●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。 ●お子さまを乗せたとき、シートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）を締め、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜けだしたり、落下するおそれがあります。
7	ベビーカーの転倒によりお子様が落下したり、ベビーカーが折りたたまれてお子様が挟み込まれる恐れがあります。ベビーカーが破損して、お子様が落下する恐れがあります。 後方転倒に注意！ カゴ以外の所に荷物を載せたり、ハンドル部に荷物をつるさないでください。	お子様が落下する恐れがあります。ベルトが首に巻きつきお子様が窒息する恐れがあります。 お子様は座面の正しい位置に座らせ、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を必ず締めて使用してください。 シートベルトは、ゆるみやねじれが無いこと。シートベルトを正しく調整し、確実に取り付けてください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりする恐れがあります。



## (6) 座席下のカゴ

消費者へのアンケート調査の結果、座席下のカゴが使いづらいと回答したモニターが 245 人 (25%) いました。そこで、各銘柄の座席下のカゴについて調べました。

座席下のカゴの容積は 9,000~18,000cm<sup>3</sup> あり、取扱説明書には最大積載荷重が 5kg までとの記載がありました。また、銘柄によっては、荷物を出し入れする開口部を大きく設けるなど、荷物を出し入れがしやすい構造となっていました

座席下のカゴの容積は、およそ 9,000~18,000cm<sup>3</sup> の容積があり最大で 2 倍の差がありました (表 5)。なお、全ての銘柄の取扱説明書に、荷物は最大 5kg までとの記載がみられました。

銘柄によっては、荷物を出し入れする開口部が大きく設けられており、大きな荷物であっても出し入れしやすい構造となっていました (写真 9)。

表 5. 座席下のカゴに入れることができる荷物について

No.	容積 [cm <sup>3</sup> ]	取扱説明書に記載されている最大積載重量
1	16,000	5kg 未満
2	11,000	5kg 未満
3	12,000	5kg 未満
4	9,000	5kg 未満
5	14,000	ベビーカーに載せる荷物の合計が 5kg 未満
6	18,000	5kg 未満
7	9,000	5kg 未満

※容積は、1 辺 10cm の立方体がカゴの高さを超えないよう、無理なく収まる数により算出しています。

※No. 6 は、座席下のカゴ以外にも荷物を入れることができるポケットとドリンクホルダーを備えています。

※No. 7 は、メーカー公式 HP では容積が「16 リットル」と記載されています。

写真 9. 座席下のカゴの荷物を出し入れする部分の例



座席下のカゴは、ベビーカーの状態によっては、立った状態では中身を確認しづらく、子どもを抱くなどしゃがむことが困難な状態では荷物を出し入れしづらいつ考えられました

座席下のカゴは、背もたれを倒すなどベビーカーの状態によっては、立ったままでは中身が見えづらくなりました。また、座面の下に位置するため、立った状態では手が届かず荷物を出し入れすることが難しいものでした。特に子どもを抱くなどしゃがみづらい状態では、荷物を出し入れしづらいつ考えられました (写真 10)。

写真 10. 子どもを抱いた状態で荷物を出し入れする様子（一例）



## 8. 消費者へのアドバイス

### (1) 今回テスト対象とした全銘柄で、ハンドルに荷物を掛けないよう警告表示がされていました。ハンドルに荷物を掛けると転倒しやすくなることを認識しましょう

消費者へのアンケート調査の結果、7割以上の方がハンドルに荷揚げフックを付けて、そこに荷物を掛けていることが明らかになりました。一方、約3割の消費者がベビーカーごと転倒あるいは子どもの転落を経験しており、その原因はハンドルに掛けた荷物という回答が最も多くありました。

今回テスト対象とした全ての銘柄で、ハンドルに荷物を掛けた場合、転倒しやすくなるなどの理由から、ハンドルに荷物を掛けないよう警告表示がされていました。テストの結果からも、ハンドルに荷物を掛けるとベビーカーはバランスを崩し転倒しやすくなることが明らかになりました。

ベビーカーのハンドルに荷物を掛けると転倒しやすくなることを認識しましょう。特に、子どもが小さく体重が軽い場合や、登り坂を通行する場合、段差や障害物を通行する際に前輪を持ち上げる操作を行う場合には影響が大きくなります。

### (2) 子どもを乗せたら、その都度、必ずシートベルトを装着させましょう

医療機関ネットワーク事業には、子どもにシートベルトを装着させておらず、ベビーカーが転倒したため、子どもがベビーカーから投げ出されて頭部を受傷し、入院や通院を要した事例がありました。また、消費者へのアンケート調査の結果、シートベルトを毎回装着させる消費者は7割未満に留まっている実態でした。テストの結果からも、シートベルトを装着させていない場合、ベビーカーが転倒すると乳児ダミー人形が投げ出されることがありました。事故の未然防止や被害低減のため、子どもをベビーカーに乗せる際には、その都度、必ずシートベルトを装着させるようにしましょう。

## 9. 事業者・業界への要望

### (1) 消費者のニーズに合わせ、ハンドル周辺に荷物を掛けて使用することを想定したベビーカーも商品ラインナップに加えるなど、さらなる商品開発の検討を要望します

消費者へのアンケート調査の結果、7割以上の消費者がベビーカーのハンドルに荷揚げフックを付けて、そこに荷物を掛けていること、そのうち約9割は、荷物を掛けることで転倒のお

それがあつことを認識していることが明らかになりました。一方、今回テスト対象とした全ての銘柄で、ハンドルに荷物を掛けないよう警告表示がされており、ハンドルに荷物を掛けて使用することを想定していませんでした。テストの結果からも、ハンドルに荷物を掛けるとベビーカーはバランスを崩し転倒しやすくなることが明らかになりました。

より消費者のニーズに合わせるために、ハンドル周辺に荷物を掛けて使用することを想定したベビーカーも商品ラインナップに加えるなど、さらなる商品開発の検討を要望します。

## **(2) シートベルトを装着していない場合、子どもが転落するおそれがある旨について、さらなる啓発を要望します**

消費者へのアンケートの調査結果、3割以上の消費者はシートベルトを装着させないで使用する場があることが明らかになりました。取扱説明書には、シートベルトを装着していない場合、子どもがベビーカーから転落するおそれがあることについて警告表示がされていますが、さらなる啓発を要望します。

### **○要望先**

全国ベビー&シルバー用品協同組合

(法人番号なし)

### **○情報提供先**

消費者庁 消費者安全課

(法人番号 5000012010024)

内閣府 子ども・子育て本部

(法人番号 2000012010019)

内閣府 消費者委員会事務局

(法人番号 2000012010019)

厚生労働省 子ども家庭局 総務課

(法人番号 6000012070001)

厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課

(法人番号 6000012070001)

経済産業省 製造産業局 生活製品課

(法人番号 4000012090001)

経済産業省 商務情報政策局 産業保安グループ 製品安全課

(法人番号 4000012090001)

一般財団法人 製品安全協会

(法人番号 1010505002118)

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165

## 10. テスト対象銘柄の仕様

各銘柄の公式ホームページ及び取扱説明書などに記載されている仕様を調査しました（表6）。

表 6. テスト対象銘柄の仕様

No.	1	2	3	4	5	6	7	
銘柄名	カルーン エア-AB	ラクーナ エア-AC	スゴカル4 キャス Light エッグショ ック HJ	メチャラ イト	ココ ブレーキ	デ・ヨーネ レジェ NAVY	ランフィ RA9	
型式または品番	2044732	2089771	No. 16887	No. 16881				
製造または販売者 (法人番号)	アップリカ・チルドレンズ プロダクツ（同） (9120001130049)		コンビ（株） (8010501017138)		(株) GMP インター ナショナル (6011001044450)	(株) 西松屋チュー ン (6140001060486)	ビジョン（株） (8010001027298)	
車輪（外 径×幅） [mm]	前車輪	約 120	約 140	約 140	約 140	約 225	約 160	約 165
	後車輪	約 120	約 140	約 140	約 140	約 225	約 160	約 180
展開時の 寸法 [mm]	幅	455	452	497	480	535	475	516
	奥行	815~985	849	745~880	810~900	960	860	830
	高さ	1,001~1,035	1,001	1,005~1,050	995~1,030	1,045	1,030	1,015
重量 [kg]	3.9	4.6	4.6	4.6	9.5	4.9	5.4	
ハンドルの切替	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり	
その他					ポケット、ドリンク ホルダー付属			
乗員	生後 1 カ月～36 カ月 (体重約 15kg) まで	生後 1 カ 月～36 カ 月 (体重 約 15kg) まで	生後 1 カ月 以上 36 カ 月ころまで(お 子さまの体 重の目安 15kg 以下)	生後 1 カ月 以上 36 カ 月ころま で (お子さ まの体重 の目安 15kg 以下)	首すわり (生後 3～5 カ月頃) ～3 歳位ま で (お子様の体重： 15kg)	生後 1 カ月以上 36 カ 月ころまでで、体重 15kg 以下のお子さま	生後 1 カ月以上 36 カ月まで (お子様の 体重の目安は 15kg 以下です)	
座席下のカゴ	5kg 未満	5kg 未満	5kg 未満	5kg 未満	荷物の重量あわせ て 5kg	5kg 未満	5kg 未満	
規格・基準への適合など	SG	SG	SG	SG	EN	不明	SG	
生産国	中国	中国	中国	中国	台湾/中国	中国	中国	

## 11. テスト方法

### (1) SG 基準の安定性試験

ベビーカーの SG 基準 (CPSA001、一般財団法人製品安全協会改正・28 安全業 G 第 160 号 2017 年 4 月 1 日) を参考に、安定性について調べました。

#### 6. 安定性

12° に傾斜した台上に、前後左右 4 方向に交互に静置し、転倒しないことを目視により確認すること。ただし、3 輪のものは、後方及び左右の斜め前向き の 3 方向とする。なお、背もたれを倒した状態の確認として、A 形のものについて、直径 160mm、高さ 300mm、質量 9kg の円柱形の重すいを、シート部中央に位置させ確認する。背もたれを立てた状態の確認として、A 形及び B 形のものについて、直径 200mm、高さ 300mm、質量 15kg の円柱形の重すいを、背もたれに立てかける状態に位置させて確認する。

### (2) 転倒に至る角度

ベビーカーにダミー人形を乗せ、任意の角度に傾斜させることができる台上に、前後左右方向に静置し、転倒に至る角度を調べました。ただし、3 輪のものは、後方及び左右の斜め前向き の 3 方向について調べました。

加えて、ハンドルに荷揚げフック (図 16) をハンドルの中央から左右に 75mm 離れた位置に 2 個取り付けて (写真 11)、そこに質量 3kg のおもりを入れたエコバッグ (写真 12) の持ち手を、それぞれ掛けた場合についても調べました。

図 16. テストに使用した荷揚げフック

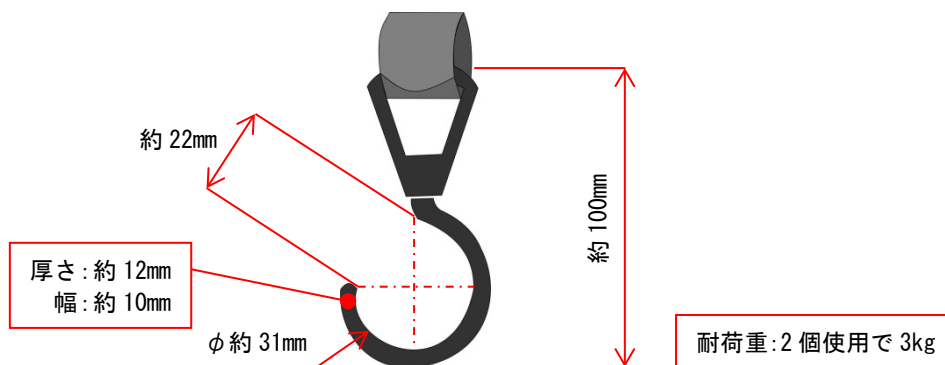


写真 11. おもりの取付位置



写真 12. テストに使用したエコバッグ



### (3) 座席下のカゴ

座席下のカゴに1辺10cmの立方体がカゴの高さを超えないよう、無理なく収まる数により容積を算出しました。

消費者へのアンケート調査集計結果

実施時期：2019年8月

調査対象：子どもがいてベビーカーを所有して使用しており、最もベビーカーを使用する子の年齢が4歳未満の人

対象人数：1,000名（子どもの年齢を6カ月ごとに均等割り付け）

回答者：20～50歳代（男女比1:1）

※割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

■質問には、所有するベビーカーのうち、最も使用頻度が高いものと、それを主に使用する子の直近の状況を回答して下さい。

Q1. あなたが所有しているベビーカーのメーカー名を教えてください。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. コンビ	361	36.1
2. アプリカ	255	25.5
3. ピジョン	55	5.5
4. 西松屋	54	5.4
5. エアバギー	44	4.4
6. 日本育児	1	0.1
7. JOIE	26	2.6
8. グレコ	29	2.9
9. その他：	63	6.3
10. わからない	112	11.2

Q2. ベビーカーの特徴を教えてください。（3つまで）

	n	%
全体	1,000	100.0
1. 背面（子と同じ方向を向く状態）と対面（子と向かい合う状態）の切替えができる商品	542	54.2
2. 背面式の商品	205	20.5
3. 軽量をうたった商品	448	44.8
4. 3輪の商品	73	7.3
5. 小さく折りたためることをうたった商品	226	22.6
6. シートが着脱できて子どもごと持ち運べ、チャイルドシートなどとしても使える多機能な商品	35	3.5
7. シングルタイヤの商品（一般的なダブルタイヤと比べ、小回りがきき、押しやすいことをうたっている）	56	5.6
8. その他：	30	3.0

Q3. ベビーカーの入手時期を教えてください。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. 2019年	80	8.0
2. 2018年	162	16.2
3. 2017年	161	16.1
4. 2016年	201	20.1
5. 2015年	103	10.3
6. 2014年	63	6.3
7. 2013年以前	153	15.3
8. わからない	77	7.7

Q4. ベビーカーの購入価格を教えてください。

※ご自身で購入していない場合でも金額がわかれば該当するものをお答えください。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. 1万円未満	97	9.7
2. 3万円未満	342	34.2
3. 5万円未満	263	26.3
4. 10万円未満	155	15.5
5. 10万円以上	5	0.5
6. わからない	138	13.8

Q5. ベビーカーの入手時の状態を教えてください。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. 新品	850	85.0
2. 中古品	140	14.0
3. わからない	10	1.0



Q6. ベビーカーの入手方法を教えてください。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. 自分で実店舗（百貨店、ベビー用品店など）から購入	570	57.0
2. 自分でインターネット通信販売の店舗で購入	188	18.8
3. 自分でインターネットオークション、フリマアプリ・サイトで購入	26	2.6
4. 親族・知人からもらった	197	19.7
5. その他	9	0.9
6. わからない	10	1.0

Q7. Q6で「1～3」と回答された方にお伺いします。ベビーカーを選択した理由は何ですか。（3つまで）

※3つ以上ある方は、特に重視した3つについてお答えください。

	n	%
全体	784	100.0
1. メーカー	289	36.9
2. 価格	380	48.5
3. デザイン	273	34.8
4. 軽い	382	48.7
5. 小さい	21	2.7
6. 大きい	8	1.0
7. 簡単にたためる	218	27.8
8. 小さく折りたためる	49	6.3
9. たたんだ状態で持ち歩きやすい	57	7.3
10. 押しやすい	193	24.6
11. ベビーカー以外の機能がある	15	1.9
12. 長く使える	98	12.5
13. 荷物がたくさん積める	40	5.1
14. その他	34	4.3
15. わからない	5	0.6

Q8. 子どもがベビーカーによじ登って乗ることはありますか。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. よくある	226	22.6
2. たまにある	285	28.5
3. 全く／ほとんどない	489	48.9

Q9. ベビーカーに子どもを乗せる場合、どれくらいの頻度でシートベルトを装着していますか。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. 毎回装着する	654	65.4
2. 装着することが多い	207	20.7
3. 装着しないことが多い	87	8.7
4. ほとんど装着しない	52	5.2

Q10. Q9 で「1～3」と回答された方にお伺いします。ベビーカーに子どもを乗せるとき、シートベルトを取扱説明書のとおり装着していますか。

	n	%
全体	948	100.0
1. 概ね正しく装着している	586	61.8
2. 一部省略して装着（肩ベルトを省略し、腰ベルトを装着など）することがある	362	38.2
3. その他	0	0.0

Q11. ベビーカーに最初から付いている荷物を載せるスペース（座席下のカゴ）を使用していますか。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. よく使用する	580	58.0
2. たまに使用する	338	33.8
3. 全く／ほとんど使用しない	58	5.8
4. 付いていない	24	2.4

Q12. Q11 で「1～3」と回答された方にお伺いします。ベビーカーに最初から付いている荷物を載せるスペース（座席下のカゴ）は使いやすいですか。

	n	%
全体	976	100.0
1. 使いやすい	371	38.0
2. どちらともいえない	360	36.9
3. 使いづらい	245	25.1

Q13. Q12で「3」と回答された方にお伺いします。理由を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	245	100.0
1. スペースが過大	3	1.2
2. スペースが不足	158	64.5
3. 位置が低い	123	50.2
4. 位置が高い	0	0.0
5. 荷物が出し入れしづらい	192	78.4
6. 荷物を入れていると折りたためない／折りたたみにくい	85	34.7
7. その他	3	1.2

Q14. ベビーカーに後から自分たちで付けた付属品を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	1,000	100.0
1. ハンドルに付ける荷揚げフック	732	73.2
2. ブランケットなどを留めるクリップ	440	44.0
3. ドリンクホルダー	215	21.5
4. レインカバー・日よけ虫よけカバー	240	24.0
5. クッション	135	13.5
6. フットマフ	33	3.3
7. ベビーカー用ステップ	24	2.4
8. 傘ホルダー	26	2.6
9. おもちゃストラップ	302	30.2
10. ミラー類 (子どもや後方の確認用)	8	0.8
11. その他	19	1.9
12. 何も付けていない	135	13.5

Q15. ベビーカーに載せる荷物と載せる場所を教えてください。

※項目「その他」については、該当するものがある方のみお答えください。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	n	座席	座席下のカゴ	ハンドルに付ける荷揚げフック	その他	載せない
	%					
1. 衣類（おむつ、着替えなど）	1,000	71	469	226	12	271
	100.0	7.1	46.9	22.6	1.2	27.1
2. 飲食物類（ミルク、ベビーフード、おやつ、手拭きなど）	1,000	55	296	341	11	344
	100.0	5.5	29.6	34.1	1.1	34.4
3. おもちゃ	1,000	293	213	173	10	349
	100.0	29.3	21.3	17.3	1.0	34.9
4. 財布、スマホなど	1,000	44	85	230	15	640
	100.0	4.4	8.5	23.0	1.5	64.0
5. 買い物袋（食材など出先で購入したもの）	1,000	76	286	480	19	246
	100.0	7.6	28.6	48.0	1.9	24.6
6. その他	33	7	21	2	1	3
	100.0	21.2	63.6	6.1	3.0	9.1

Q16. Q15 でベビーカーに載せる場所として「ハンドルに付ける荷揚げフック」を選択された方にお伺いします。ベビーカーのハンドルや後付けした荷揚げフックに荷物を掛けると、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがあると考えたことがありますか。

	n	%
全体	620	100.0
1. はい	548	88.4
2. いいえ	72	11.6

Q17. Q9 で「3、4」と回答された方にお伺いします。ベビーカーにシートベルトを装着せずに子どもを乗せると、子どもが転落するおそれがあると考えたことがありますか。

	n	%
全体	139	100.0
1. はい	117	84.2
2. いいえ	22	15.8

Q18. ベビーカーを使っている、ベビーカーが転倒した、あるいはベビーカーから子どもが転落した経験はありますか。

	n	%
全体	1,000	100.0
1. ある	286	28.6
2. ない	714	71.4

Q19. Q18で「1」と回答された方にお伺いします。転倒または転落した際の原因として考えられるものを教えてください。転倒または転落の経験が複数回ある場合、最も多く経験したものについて回答してください。(いくつでも)

※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

	n	ハンドルや後付けした荷揚げフックの荷物	段差、傾斜、障害物	シートベルトをしていなかった	子どもの姿勢 (身を乗り出したなど)	子どもが自分で乗り降りした	その他	わからない
	%							
1. 転倒の原因	286	203	61	21	38	23	5	8
	100.0	71.0	21.3	7.3	13.3	8.0	1.7	2.8
2. 転落の原因	286	67	49	54	51	51	31	49
	100.0	23.4	17.1	18.9	17.8	17.8	10.8	17.1